

**「（仮称）次期桐生市総合計画」
策定に向けたアンケート調査結果
報告書 抜粋**

調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、平成32年度を初年度とする「（仮称）次期桐生市総合計画」の策定にあたり、生活の豊かさ、心の豊かさになんらかの形で寄与できる施策に取り組んでいくため、「桐生市在住の18歳以上の方」と「桐生市の中学校に通う中学2年生」を対象に、「幸福度」という視点に立って、市民の皆様が日々の生活のなかで感じていることや地域について実感していることなどを伺うとともに、近隣8市を対象にインターネット調査を実施し、市民と近隣8市の住民が考える桐生市に対するイメージ等の違いから考察を得ようとするものです。

2. 実施概要

調 査	対 象	実施時期・調査方法	回収数
市民意識調査 （一般市民）	18歳以上の市民 2,000人	平成30年9月15日～10月5日実施 郵送による配布・回収	回収数：969票（うち白票8） 回収率：48.5%
市民意識調査 （中学2年生）	市内の中学校に通う中学2年生 950人	平成30年9月10日～9月21日実施 学校で配布・回収	回収数：897票（うち白票0） 回収率：94.4%
インターネット調査 （web）	近隣8市の住民（前橋市・高崎市・伊勢崎市・太田市・沼田市・みどり市・足利市・佐野市） 1,031人	平成30年9月16日～9月18日実施 インターネット調査	回収数：1,031票（うち白票0） 回収率：100.0%

3. 調査結果の見方

- ◇ 設問ごとにその設問内容を示すタイトルを付けています。
- ◇ タイトルの横には、質問形態を記載しています。

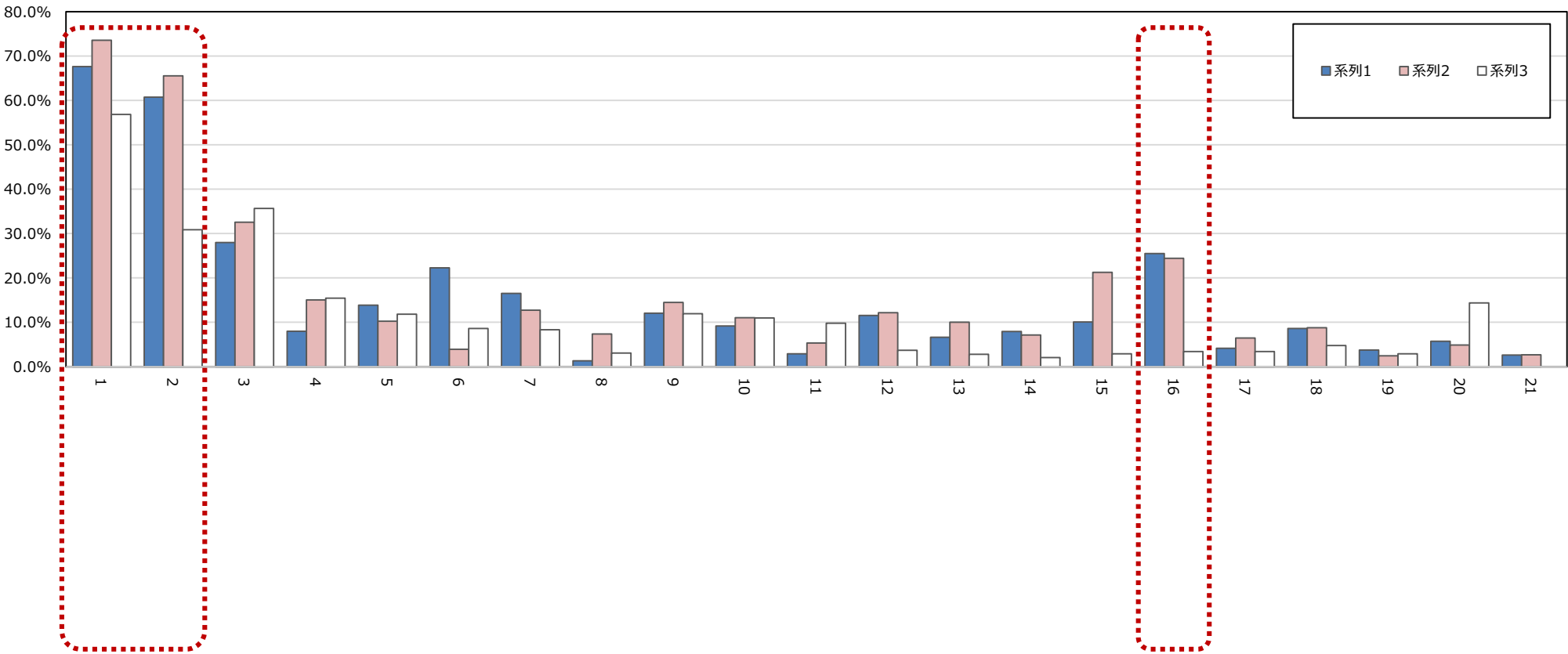
S A = 単数回答：「1つに○」等、選択肢を1つ選ぶ質問形態
M A = 複数回答：「あてはまるものすべてに○」等、2つ以上の選択肢を選ぶ質問形態
F A = 文字記述により回答する形態

- ◇ 各グラフの“n”は、当該設問に回答すべき方（回答対象者）の人数を示しています。
- ◇ 集計結果のグラフ・表における“無回答”は、当該設問への無回答の他、回答規則違反（例えば、単数回答の設問における複数回答等）の件数（票数）を示しています。
- ◇ インターネット調査については、調査方法の関係上、“無回答”は存在しません。
- ◇ グラフ・表には、原則として各集計数の総回答対象者数に対する比率を表示しています。
- ◇ 集計は、小数点以下を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合があります。
- ◇ 各設問の選択肢等については、アンケート調査票に記載された選択肢から、その意味を損なわない程度に表現を簡略化している場合があります。

各調査（一般市民、中学生、web）の統合分析①

桐生市に対するイメージ（MA）

- 「織物のまち」が一般市民、中学生、webで共通して最も割合が高く、次いで一般市民と中学生は「自然が豊かなまち」、webは「歴史・伝統が息づくまち」が高くなっています。
- 「災害に強い・治安のよいまち」については、一般市民と中学生は25%程度が選択している一方で、webでは3.4%となっています。

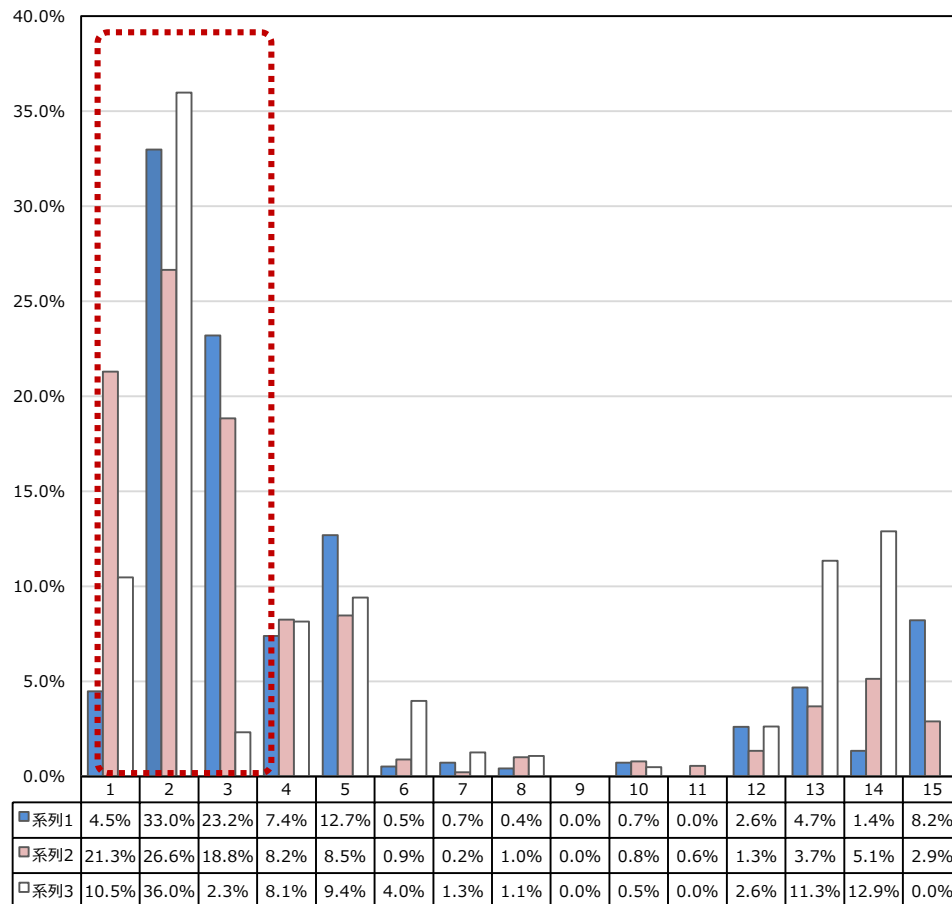


	織物のまち	自然が豊かなまち	歴史・伝統が息づくまち	文化・芸術のまち	ものづくりのまち	群馬大学を中心とした産学官連携のまち	人情味のあるまち	活気のあるまち	景観やまちなみが美しいまち	グルメのまち	観光のまち	子育てしやすいまち	教育環境のよいまち	医療機関が整備されたまち	環境にやさしいまち	災害に強い・治安のよいまち	交通利便性のよいまち	スポーツが盛んなまち	その他	イメージが浮かばない	無回答
一般市民（n=961）	67.6%	60.8%	28.0%	8.0%	13.8%	22.3%	16.5%	1.4%	12.1%	9.2%	2.9%	11.6%	6.7%	7.9%	10.1%	25.5%	4.2%	8.6%	3.7%	5.7%	2.6%
中学生（n=897）	73.6%	65.6%	32.6%	15.1%	10.3%	3.9%	12.7%	7.4%	14.5%	11.0%	5.4%	12.2%	10.0%	7.1%	21.3%	24.4%	6.5%	8.8%	2.5%	4.9%	2.7%
web（n=1,031）	56.8%	30.8%	35.7%	15.4%	11.8%	8.6%	8.3%	3.1%	11.9%	11.0%	9.8%	3.7%	2.8%	2.0%	2.9%	3.4%	3.4%	4.8%	2.9%	14.4%	0.0%

各調査（一般市民、中学生、web）の統合分析②

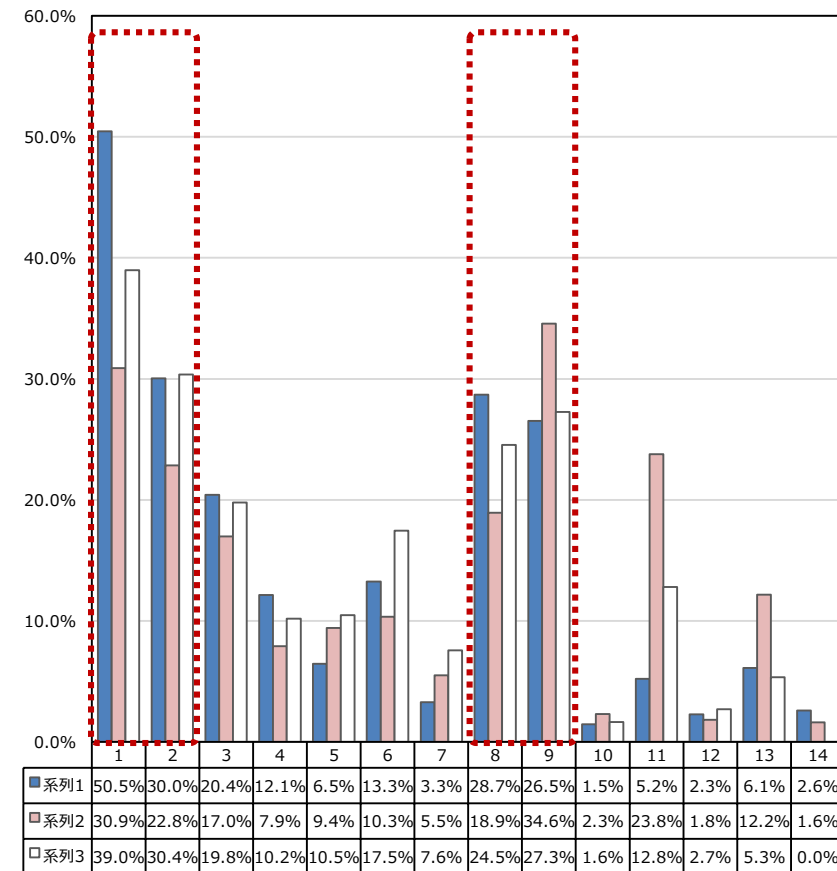
最も魅力のある都市（SA）

- 「高崎市」が一般市民、中学生、webで共通して割合が最も高くなっています。
- 「桐生市」については、一般市民と中学生では20%前後となっていますが、webは2.3%となっています。
- 中学生では「前橋市」の割合が「高崎市」に次いで高くなっています。



最も魅力ある都市の主な魅力（MA）

- 「交通利便性」「生活環境」「市街地の活気」「都市のイメージ」が一般市民、中学生、webで共通して割合が高くなっています。
- 中学生では「イベント」の割合が一般市民、webと比較して高くなっています。
- webでは「歴史・文化」の割合が一般市民、中学生と比較して高くなっています。

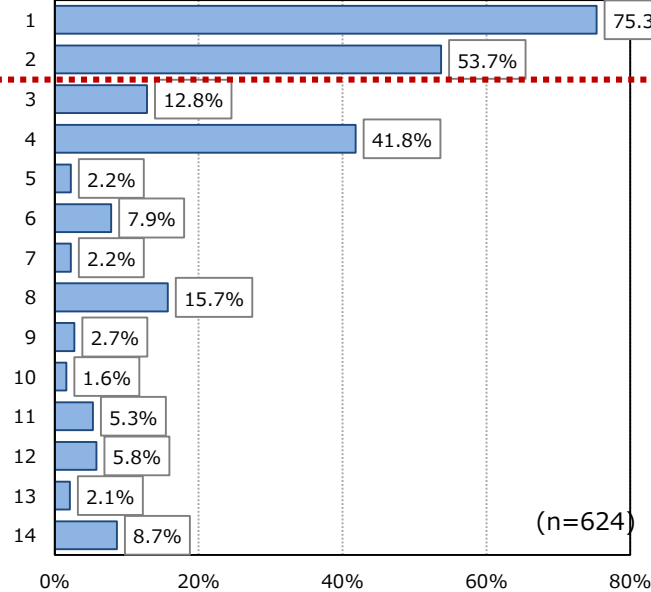
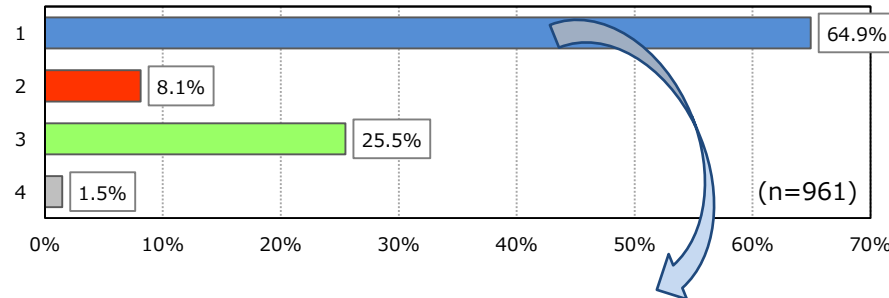


一般市民及び中学2年生アンケート調査結果①

桐生市に将来も住みたいか（SA）

○「住みたい」が64.9%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が25.5%、「住み続けたくない」が8.1%となっています。

【一般市民】



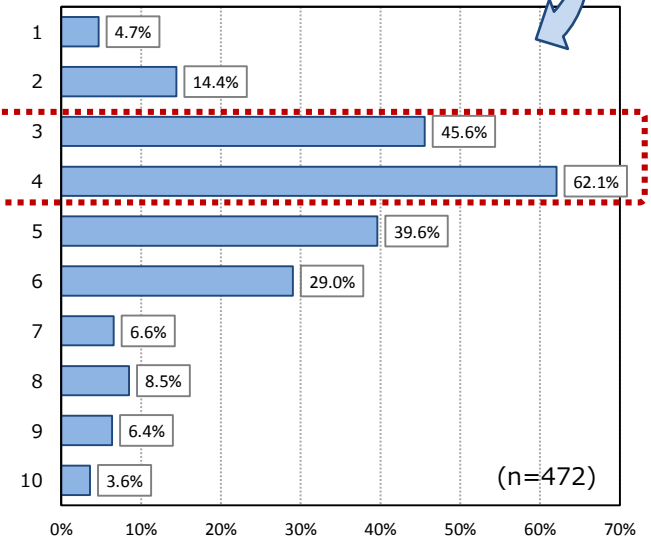
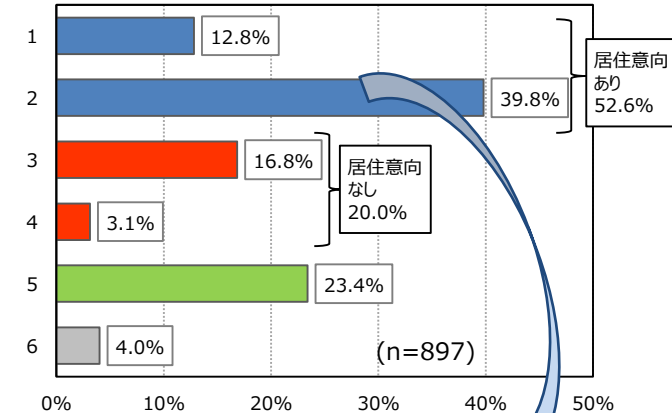
住みたい理由（MA）

○「自分の土地や家があるから」が75.3%と最も高く、次いで「家族や親族、友人がいるから」が53.7%、「生まれてから住んでいて、愛着があるから」が41.8%となっています。

桐生市に将来も住みたいか（SA）

○「進学・就職などで桐生市を離れると思うが、いつかは戻って住みたい」が39.8%と最も割合が高くなっています。

【中学生】



住みたい理由（MA）

○「生まれてから住んでいて、愛着があるから」が62.1%と最も割合が高く、次いで「家族や友人などから離れたくないから」が45.6%となっています。

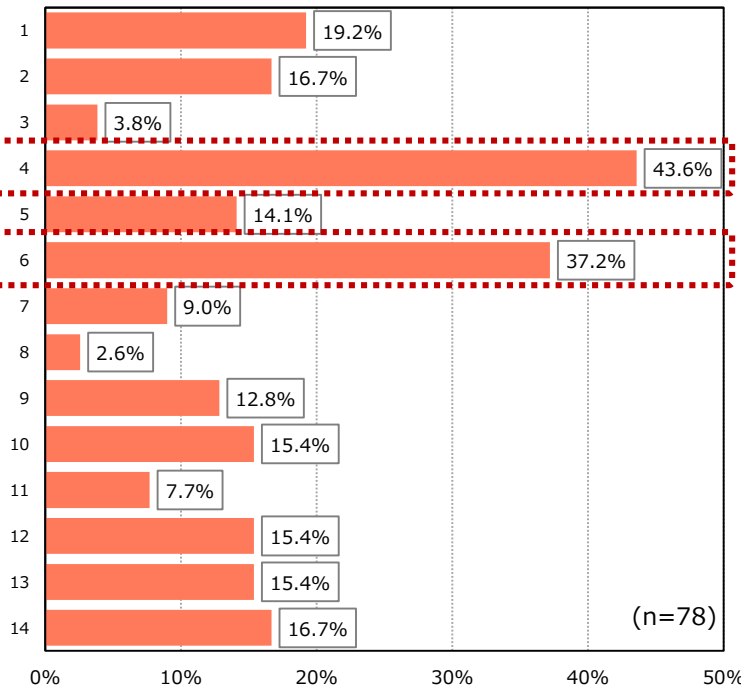
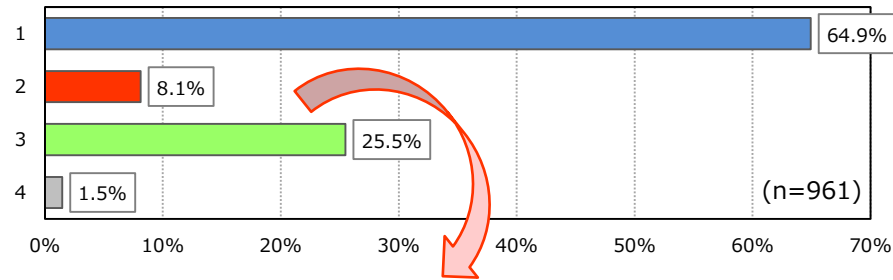
一般市民及び中学2年生アンケート調査結果②

桐生市における定住意向と住みたくない理由について（S A）

○一般市民と比較して、中学生は「居住意向がない」割合が高くなっています。

○住みたくない理由としては、一般市民・中学生に共通して「買い物などの生活の不便さ」の割合が高くなっています。

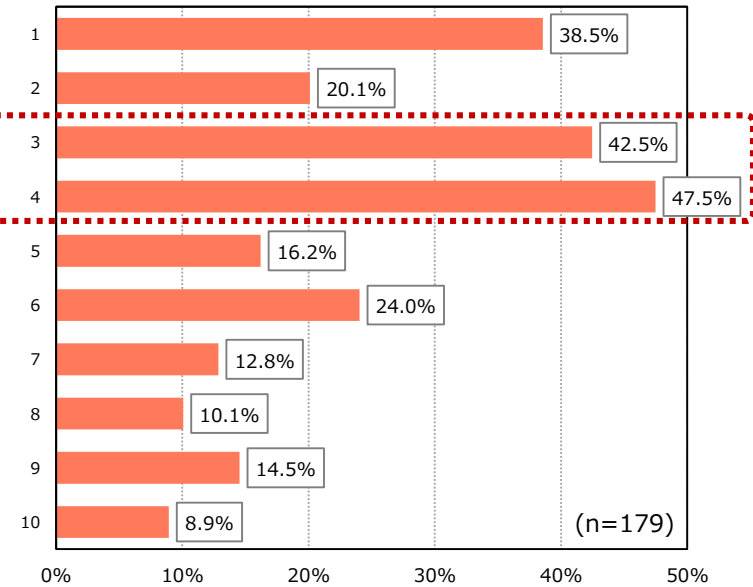
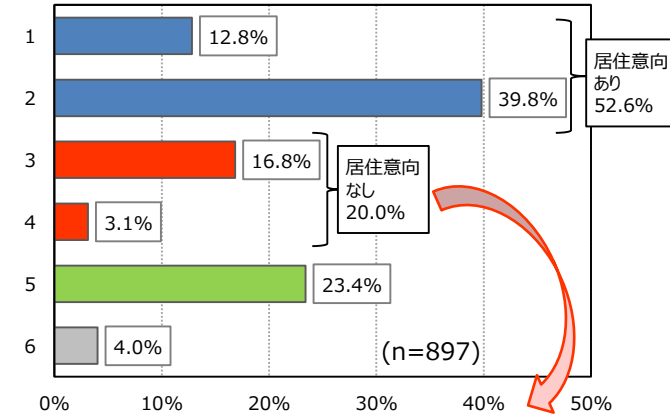
【一般市民】



住み続けたくない理由（MA）

○「若者が少なく、活気がないから」が43.6%と最も高く、次いで「お店が少なく買い物など生活に不便だから」が37.2%となっています。

【中学生】



住みたくない理由（MA）

○「交通や買い物など、いろいろな面でもっと便利なところに住みたいから」が47.5%と最も割合が高く、次いで「桐生市にはない、いろいろな職業の中から自分の道を選びたいから」が42.5%となっています。

一般市民及び中学2年生アンケート調査結果③

今後、どのようなことに力を入れたまちづくりをしてほしいか（MA）

- 「働く場所も多く、商店も整った、にぎわいのあるまちづくり」「災害や犯罪のない、安全なまちづくり」が一般市民、中学生で共通して割合が最も高くなっています。
- 「知名度が高く、全国から多くの人を訪れる、交流と観光のまちづくり」については、一般市民と比較して中学生で特に割合が高くなっています。
- 「子どもから高齢者まで、だれもがいつまでも安心して暮らせる、やすらぎと健康のまちづくり」については、中学生と比較して一般市民で特に割合が高くなっています。

